

各商議所も経営支援

特別融資制度へ

利子補給を実施

福島商議所が議員総会

新型コロナウイルスの影響が広がっていることを受け、福島商工会議所は独自の経営支援策を行う。新型コロナウイルス対策の特別融資制度に対する利子補給や、会費納入の納期延長などを実施する。27日、福島市のクーラクーリアンテ・サンパレスで開いた常議員

会・議員総会で決めた。

議事では、新型コロナウイルスに対応したきめ細かな情報提供や経営相談を行うことを重点事業に掲げた新年度の事業計画を決めた。渡辺博美会頭を本部長とする新型コロナウイルスに伴う経営支援対策本部を設置したことも報告された。

渡辺会頭から賞状を受ける相良社長(右)



渡辺会頭が「現在の福島市の1番の課題は、新型コロナウイルスの経済活動への影響についてだ。本日福

島市で予定されていた聖火リレーも中止となった。相談体制の強化などのほか、商議所独自の支援策も実施していくとあいさつした。

優良会員事業所表彰も行われ、環境改善賞のアポロガス(福島市)、地域貢献賞の大久自動車販売(同)、委員長特別賞のTSUMIKI(同)をたたえた。渡辺会頭がアポロガスの相良元章社長らに賞状を手渡した。